

本校の進路支援について

さわやかな気節となりましたが、朝晩の冷え込みで体調を整えるのが大変な日々が続いております。

現在、高等部では「生活体験実習」が行われています。生活体験実習は高等部を卒業してからの生活に繋げるため、様々な福祉事業所で日中活動を体験する学習で進路決定に向けての大切な取り組みとなります。

さて、小・中学部の保護者の皆さんにとっては、「高等部卒業後の進路はまだ先のこと」と思われている方々も多いと思いますので、各学部の教育で意識したい内容を紹介させていただきます。

まず小学部では、家庭という活動の場から多くの友達や先生のいる学校での生活に移行します。児童にとっては、家族以外の人たちと活動する機会が増え少しずつ社会性が培われます。現在は、放課後にデイサービスを利用している方々も多いのではないのでしょうか？こうした様々な活動を経験していく過程で「学校でできた」「支援員さんともできた」など、自分の力が発揮できる場面を広げ、興味関心の幅を広げて行くことが大切と考えています。

次に中学部では、小学部で培った力を土台に「得意な活動を見つけよう」「好きな活動を深めてみよう」と一歩踏み込んで教育活動を展開していきます。

「もっと■■■を勉強したいからこの高校に行きたい」「●●な生活を送るために▲▲を身につけよう」等、より具体的に進路へのイメージができるといいと思います。

そして高等部では、「自分の得意なことを生かして」「こんな生活を送るために」等、卒業後の生活をイメージしながら実習等を進め、進路決定に繋げていきます。やはり大切なのは、生徒達が「■■■をしたい」「▲▲が得意」「●●するのが夢」という願いをもつことだと考えています。

「子ども」を中心に保護者・学校・多くの支援者がつながりあって児童生徒の生活や学習の支援ができると、おのずと進む道が明確になってくると考えています。

さて本校では、身につけたい力として「生きる力の5要素」をキーワードに学習活動を進めています。「必要な情報を得ること」「自ら考え判断すること」「意思等を効果的に表現すること」「人と協調すること」「健康や体力・身体諸機能の維持向上」です。



5つの要素をわかりやすくまとめてみました。高等部では、卒業後の生活を見据え、「具体的な力」として生徒たちに伝えています。日々の生活で意識し活動していくことが、卒業後の充実した生活に繋がっていくと考えています。

また、保護者の皆さんには、早い段階から福祉事業所の見学をお願いしたいと思います。「地域にどのような事業所があるか」「どんな活動をしているか」「事業所の定数は？」等を知ること、お子さんの将来につ

いて考えるきっかけになります。高等部卒業時に、本人保護者が納得して進路先を決定できように進めて行きたいと思いますので、よろしく願います。(進路支援部長 森 一也)